

## 関西方言における「トル」・「ヨル」の用法

— アスペクト以外の表現を中心に —

足 立 雅 代

### 一 はじめに

二〇〇〇年七月、大阪を中心として、雪印乳製品による大規模な食中毒事件が発生した。そして、この雪印の製品管理体制の杜撰さに対して、磯村隆文大阪市長（一九三〇年生・大阪市出身）は同年七月四日の定例記者会見において、

雪印は、…（中略）…中身がたるんでるのとちがうか、

〔「ニュースステーション」七月五日放送・傍線部筆者〕

と、関西方言のイントネーションで発言した。しかし、

この発言を記事にした新聞の見出しでは、次のように、

市長「雪印たるんだる」

〔「朝日新聞」七月四日夕刊大阪本社三版〕

と、「テル」が「トル」に書き換えられている<sup>②</sup>。つまり、このことは、いわゆるアスペクト以外の表現機能を「トル」が担っていることを示しているのである<sup>③</sup>。

アスペクトの研究に関しては、これまでにも、膨大な量の考察が行われてきている。特に、近年の代表的なものとしては、古代語の検討による鈴木（一九九九）や、方言も視野に入れた現代語を総合的に考察した工藤（一九九五）や、歴史的な視点も取り入れてその成立を論じた金水（一九九五・一九九九）等がある。又、方言のアスペクトを調査分析した工藤（二〇〇〇）や、特に、上方語のそれを中心に据えた金沢（一九九九）等がある。

中でも、井上（一九九八）では、関西中央部における「オル」・「トル」の軽卑化のメカニズムが、詳細に論

じられている。

例えば、関西中央部では、

犬、鳴いテル。

犬、鳴いトル。

というような表現がある場合、「テル」が待遇的に中立なアスペクト、「トル」はアスペクト表現の進行態・結果態を表しつつ、心情的でぞんざいな言い方になる。軽卑的アスペクト表現形式<sup>メシ</sup>であると指摘されている。又、

のような「ヨル」を、「卑語」とも定義されている。

更に、この「ヨル」に関しては、他の例よりも、待遇的側面が際立っているという岸江（一九九〇）の指摘もある。

そして、このような待遇表現の使い分けは、「テル」がフォーマルな場での使用形、「トル」・「ヨル」がインフォーマルな場での使用形といった使い分けとは、レベルの違いの問題であると井上（一九九八）では述べられている。

しかしながら、待遇表現とフォーマル・インフォーマルとの問題を、厳密に分けて考えることは、実際の言語運用では、かなり困難なのではないかと思われるのである。例えば、先に挙げた新聞記事の実際の見出しは、

市長「雪印たるんどる」

知事「責任自覚足りぬ」

という形式になつてゐる。仮に、全国初の女性知事である太田房江大阪府知事（一九五一年生・広島県呉市出身）が、磯村市長と同様の発言を行ったとして、果たして、見出しが「たるんどる」となる可能性はあったのであろうか。又、磯村市長の発言自体も、定例記者会見の場でのものであるのだから、当然、フォーマルな場でのものである。しかし、新聞の見出しは、実際の発言と異なるにも拘わらず「トル」を使用しているのである。

本稿では、この関西方言における「トル」・「ヨル」のアスペクト以外の表現について、関西ローカルのTV番組中での関西タレントの発言や、京都市内に所在する大谷大学短期大学の学生のアンケート等から、その具体的な用法の考察を行いたいと思う。

## 二 関西ローカルのTV番組における

### 関西タレントの発言例

フォーマル・インフォーマルという視点から考えると、TV番組は、フォーマルな場にあたると思われる。しかしながら、関西ローカルのTV番組では、たとえ、司

会の局のアナウンサーであろうと、関西の視聴者を対象とした地域密着型の情報番組等では、

上手いやんか、あんだ。

それがでけへんねん。

〔「ちんぷいぷい」二〇〇〇年九月四日放送における

毎日放送アナウンサー角淳一（以下敬称略）の発言〕

と、関西方言が使用されることが非常に多い。つまり、フォーマルな場では、共通語を使用するという立場で考えるならば、関西ローカルのTV番組は、言語の運用に関して、フォーマル・インフォーマルの境界が曖昧であるとも言えるのである。

そこで、井上（一九九八）において、軽卑的アスペクト表現形式「トル」・卑語形式「ヨル」が使用されているという関西中心部出身の関西タレントの関西ローカルのTV番組における「テル」・「トル」・「ヨル」の発言例を調査した。調査したタレントは、以下の通りである。又、調査した番組は本稿末に示した。

### 《男性》

- 一・桂ざこば（一九四七年生・大阪市出身）
- 二・やしきたかじん（一九四九年生・大阪市出身）

### 《女性》

- 三・桂南光（一九五一年生・大阪府千早赤阪村出身）
- 四・島田紳助（一九五六年生・京都市出身）
- 五・松本人志（一九六三年生・兵庫県尼崎市出身）
- 六・浜田雅功（一九六三年生・兵庫県尼崎市出身）<sup>④</sup>
- 七・ハイヒール・リング（一九六一年生・大阪府枚方市出身）
- 八・ハイヒール・モモコ（一九六四年生・大阪市出身）

以上のタレントの「テル」・「トル」・「ヨル」の使用例をまとめたものが、次に示す（表1）である。

（表1）

氏名	「テル」	「トル」	「ヨル」
桂ざこば	59	23	16
やしきたかじん	159	62	4
桂南光	116	11	2
島田紳助	82	7	6
松本人志	125	12	3
浜田雅功	107	9	0

ハイヒール・リング	79	2	0
ハイヒール・モモコ	41	2	0

(表1) からは、「テル」の使用例が、「トル」・「ヨル」の使用例よりも、圧倒的多数を占めることがわかる。これは、TV番組が、基本的には、フォーマルな場であることを示している。その一方で、たとえば、女性でも、「ヨル」を使用することは無いものの、「トル」は使用する場合があることがわかる。

そこで、次に、「テル」・「トル」・「ヨル」の使用例の具体的な用法について検討したい。先の例に関して、

すばらしい人やと思ってるのに、  
桂南光(9)

一ぱいいてると思いました。  
島田紳助(1)

等のような平叙文の例と、

普通に歩いてるんですか？  
浜田雅功(6)

コマネチ、知ってる？  
桂南光(1)

等のような疑問文の例と、

話、飛んぶるやないけ！  
桂ざこば(9)

二口で飲みよるねん！  
やしきたかじん(1)

等のように軽卑等の感情をそのまま表現した感動文との

例に分類したものが、次に示す(表2)である。

(表2)  
「テル」の例

氏名	平叙文	疑問文	感動文
桂ざこば	58	1	0
やしきたかじん	141	11	7
桂南光	109	7	0
島田紳助	75	3	4
松本人志	90	30	5
浜田雅功	83	24	0
ハイヒール・リング	72	5	2
ハイヒール・モモコ	40	1	0

「トル」の例

氏名	平叙文	疑問文	感動文
桂ざこば	20	0	3
やしきたかじん	41	2	19
桂南光	4	0	7

島田紳助	2	0	5
松本人志	0	0	12
浜田雅功	0	0	9
ハイヒール・リンゴ	0	0	2
ハイヒール・モモコ	0	0	2

「ヨル」の例

氏名	平叙文	疑問文	感動文
桂ざこば	0	0	16
やしきたかじん	0	0	4
桂南光	0	0	2
島田紳助	0	0	6
松本人志	0	0	3
浜田雅功	0	0	0
ハイヒール・リンゴ	0	0	0
ハイヒール・モモコ	0	0	0

(表2)からは次のようなことがわかる。

一・「テル」は、平叙文・疑問文・感動文の全てに使用されるが、特に、平叙文に使用される場合が多い。  
二・「トル」は、「テル」に比べて、感動文で使用される場合が多い。

三・疑問文には、「テル」が基本的に使用される。又、「トル」の疑問文で使用されている二例については、次の

営業行つとるの？

やしきたかじん(1)

親戚、見とるかい？

やしきたかじん(1)

のように、目下の人間に対する使用例である。

四・「ヨル」は感動文に使用される。

特に、「トル」に関しては、先の三の指摘とも関係してくるが、次の例のように、

リンゴちゃんやったら、絶対、買うとるわ。

桂南光(9)

と、平叙文の場合でも、目下の人間に使用されることが非常に多いのである。

更に、「トル」が、感動文で使用される場合が多いということは、例えば、雪印の管理の杜撰さに対する怒りについてのフリートークのテーマを画面の右下に示すテロップで、

雪印乳業どうなつとんねん

〔痛快！エブリデイ〕二〇〇〇年七月一〇日放送

という例があることからわかる。

又、フリートークの発言内容を画面の下に示すテロップの場合でも、次のように、

何しとんねん お前コラト

松本人志(8)

と、文末に怒りを表す「ト」記号が記される様な発言で、「トル」が使用されている。

このテロップに関しては、特に、関西ローカルのTV番組では、興味深い傾向がある。足立(二〇〇〇)でも触れたような共通語を話そうとする場合に使用される丁寧体の文末の時には、文末に何の記号も記さずに、平叙文であることが表される。そして、そのような文中では、次のように、「テル」が使用されているのである。

落ちてるもんはいてきてるんですよ

〔快傑えみちゃんねる〕二〇〇〇年七月

二四日放送における上沼恵美子の発言

これと同様に、疑問文の場合には、文末に「？」の記号が記され、疑問文であることを表し、文中では、やはり、「テル」が使用されている。

一日こんな顔してんのん？

〔同〕二〇〇〇年七月一〇日放送

これに対して、感動文の場合には、文末に「ー」の記号が記され、感動文であることを表し、文中では、「トル」が使用されているのである。

ナニぬかしとんねん!!

〔同〕二〇〇〇年七月三一日放送

勿論、全ての例が当てはまるわけではないが、テロップを示す際には、このような傾向があることは事実である。そして、これは、先の(表2)で分析した結果とも矛盾しないのである。

又、一つの発言の中で、「テル」と「トル」が、続けて使用される例もある。次に示す例は、話をしているうちに感情が高ぶって、「テル」が「トル」に変化したものである。

待って下さいいね。持っといて下さいいね。

松本人志(1)

ホルモン打ってる、ホルモン打つとんねん。

島田紳助(2)

コンクリなってるし、暖房たいとるわ。

桂ざこば(9)

そして、これは、男性に限らず女性の場合でも、同様の例が見られる。

おじいちゃんがこんなんしててる写真とか、おばちゃんがこんなんしてって、

ハイヒール・リング(4)

何を言うてんの。何を言うてんの。

(「快傑えみちゃんねる」二〇〇〇年七月

一〇日放送における上沼恵美子の発言)

この反対に、感情の高ぶりが収まるに従って、「トル」から「テル」に変化する例もある。

榎本チェーンで作つとんねん。榎本チェーンで作つてんねん。  
島田紳助(1)

こいつ、オレにおびえとるな。完全に、オレにおびえとるな。

(「探偵! ナイトスクープ」二〇〇〇年

七月七日放送における北野誠の発言)

更に、「ヨル」から「トル」に変化する例さえも存在するのである。

「どうぞ」って言いよんねん。「どうぞ」って言うとんねん。

桂ざこば(4)

筆者が調査したTV番組は、二〇〇〇年七月中の延べ約二八時間であるが、その時間内で、このような例を八例見つけることができるのである。これは、決して、少ない割合ではないし、珍しい例であるとも言えないであろう。つまり、基本的には、フォーマルな場であるTV番組でも、感情が高ぶってくると、そちらの表現を表す「トル」や「ヨル」が優先されることが多いのである。

以上、関西ローカルのTV番組における関西タレントの発言例を調査検討してきた。その結果、関西ローカルのTV番組では、「テル」・「トル」・「ヨル」の使い分けに関して、待遇表現の使い分けとフォーマル・インフォーマルの場の使い分けとの境界線が曖昧であることがわかった。そして、感情が高ぶってくると、たとえ、基本的にはフォーマルな場とされるTV番組でも、軽卑等の感情を表す待遇表現の方が優先される場合が多くなってしまうのである。

### 三 アンケート調査の結果から

「テル」・「トル」・「ヨル」の使用に関して、京都市に所在する大谷大学短期大学部においてアンケート調査を行った。アンケートを実施したのは、二〇〇〇年六月三〇日の第三講時目の「言語学」の講義中である。又、アンケートの形式は、質問紙による回答である。調査したのは、文化学科二回生一〇六名(男性三三名・女性七三名)で、その中で、関西方言話者九四名(男性三二名・女性六三名)、非関西方言話者は一二名(男性二名・女性一名)であり、共通話者は存在しなかった。

初めに、「雨が降っている。」を普段の言葉づかいに直

して下さい、という質問を行った。

まず、関西方言話者男性三二名の中で、「テル」と回答した者は二七名、「トル」と回答した者は四名、「ヨル」と回答した者は〇名であった。そして、この「トル」と回答した四名は、総て、京都市の出身者であった。又、関西方言話者女性六三名の中で、「テル」と回答した者は六一名、「トル」と回答した者は一名、「ヨル」と回答した者は一名であった。この「トル」と回答した者は、兵庫県神戸市出身、「ヨル」と回答した者は、小学校二年まで広島市に在住していた者であった。従って、関西方言話者の若年層では、一部の京都市出身の男性を除いて、普段は、「テル」を使用していることがわかる。

一方、非関西方言話者男性二名は、二名とも「テル」を使用すると回答した。又、非関西方言話者女性一〇名の中で、「テル」と回答した者は五名、「トル」と回答した者は四名、「ヨル」と回答した者は一名であった。この「トル」と回答した者は、広島市出身、鳥根県松江市出身、鳥取県米子市出身、福岡市出身であった。更に、「ヨル」と回答した者は、広島市出身であった。「雨が降っている。」をどのような状態に解釈するのかによって差があるが、基本的には、従来、指摘されてきた西部

方言のアスペクトと呼応する結果である。

次に、「何をしているですか？」を普段の言葉づかいに直して下さい、という質問を行った。

まず、関西方言話者男性三一名の中で、「テル」と回答した者は二十九名、「トル」と回答した者二名、「ヨル」と回答した者は〇名であった。この「トル」と回答した者二名は、先の「雨が降っている。」についても、「トル」と回答した京都市出身者である。しかし、疑問文の形式になると、「テル」になるという者がいることが、ここからはわかるのである。又、関西方言話者女性六三名の中で、六三名総てが、「テル」と回答した。従って、関西方言話者の若年層では、疑問文になると、「トル」よりも「テル」の方が、使用される場合が多いことがわかる。

一方、非関西方言話者男性二名は、二名とも「テル」を使用すると回答した。又、非関西方言話者女性一〇名の中で、「テル」と回答した者は七名、「トル」と回答した者は三名、「ヨル」と回答した者は〇名であった。この「トル」と回答した者は、先の「雨が降っている。」についても、「トル」と回答した広島市、鳥根県松江市、鳥取県米子市出身者である。しかし、関西方言話者と同

様に、やはり、疑問文になると、「トル」よりも「テル」の方が、使用される場合が多いことがわかる。

これらのことから、疑問文の場合、「テル」は「トル」よりも使用されることが多いことがわかる。そして、これは、先の関西ローカルのTV番組の傾向とも矛盾しないのである。

更に、「コイツ、こんなことしてる。」・「コイツ、こんなことしてる。」・「コイツ、こんなことしよる。」という表現について、普段、使用するか否か、どのように使い分けているのかということを質問した。その結果をまとめたものが、次に示す(表3)である。

まず、関西方言話者男性三二名の中で、「テル」・「トル」・「ヨル」の総てを使用すると回答した者は一二名であった。そして、これらの使い分けに関しては、「トル」は、「少し腹が立った時に使用する。」(大阪府東大阪市出身)、「友人と話をする時に使用する。」(京都市出身・滋賀県大津市出身)、「ヨル」は、「やっつてはいけないことをしている時に使用する。」(京都市出身三名)等の回答があった。又、「テル」・「トル」を使用すると回答した者は八名であった。そして、これらの使い分けに関しては、「テル」が目上の人に「トル」が友人に対して使用する

(表3)

	「テル」	「トル」	「ヨル」	関西方言話者		非関西方言話者	
				男性	女性	男性	女性
×	×	×	○	×	○	○	○
×	×	○	×	○	×	○	○
×	○	×	×	○	○	×	○
0	0	4	5	1	1	8	12
0	0	0	23	0	2	19	19
0	0	0	1	0	1	0	0
0	0	3	4	1	0	1	1

る。」(京都市出身)、「テル」が少しやさしめで「トル」が少しこわめ。」(京都市出身)、「トル」は、「強調する時に使用する。」(京都市出身)、「トル」・「ヨル」については、「女の子に使って欲しくない。」(京都市出身)等の回答があった。更に、「テル」・「ヨル」を使用すると回答した者は一名であった。この使い分けについて、「ヨル」は、「しゃべるネタがない時に、何かを話し出そうとして、強調して使用する。」(滋賀県大津市出身)といった回

答があった。又、「トル」・「ヨル」を使用すると回答した者も一名であったが、「テル」を使用しない理由は、「関西人だから。」と、「トル」と「ヨル」の使い分けについては、「トル」は自分に関係なく相手が何か行動する時、「ヨル」は自分に対して相手が何か行動する時に使用する。」(京都市出身)といった回答があった。そして、「テル」のみを使用すると回答した者が四名、「トル」のみを使用すると回答した者が四名、「ヨル」のみを使用すると回答した者は、総て、京都市出身者であった。この「トル」のみを使用すると回答した四名の中で、先の「雨が降っている。」の質問で、「トル」と回答した者は一名であり、他の三名は、恐らく、「コイツ、こんなことしとる。」の「コイツ」や「こんなこと」という語彙に引かれての回答であると考えられる。しかしながら、「テル」・「トル」・「ヨル」の使い分けに関して、アスペクトに関するもの、フォーマル・インフォーマルに関する回答は、見られなかった。

次に、関西方言話者女性六三名の中で、「テル」・「トル」・「ヨル」の総てを使用すると回答した者は一九名であった。そして、これらの使い分けに関しては、「トル」

は、「わざと荒っぽく言う時に使用する。」(京都府亀岡市・八幡市・京都市出身)、「怒った時に使用する。」(京都市出身)、「友人に対して使用する。」(京都市二名・奈良市出身)、「目下の人に対して使用する。」(滋賀県大津市出身)、「ヨル」は、「余計なことしやがってという時に使用する。」(大阪府高槻市出身・寝屋川市出身)、「テル」・「トル」・「ヨル」となるに従って、キツイ印象になる。」(京都市出身)といった回答があった。その一方で、「トル」は今していることで「ヨル」はその少し前を表す。」(滋賀県高島郡出身)、「トル」は今していることで「ヨル」はこれからしようとすることを表す。」(滋賀県高島郡出身)といったアスペクトに関する使い分けの回答があった。アスペクトの使い分けの表現の仕方は、個人によって差があるが、西部方言のアスペクトと同じ状態を表している。又、この二名の出身地と同じ関西方言話者男性が、今回の調査ではいなかったのであるが、滋賀県の湖西地方では、関西中心部よりも、アスペクトに関する使い分けが行われていると考えられるのである。更に、「テル」・「トル」を使用すると回答した者は一九名であった。この使い分けについて、「テル」は、「やわらかい感じがする。」(京都市出身)、「トル」は、「友人

に対して使用する。」(京都市出身三名・大阪府寝屋川市出身)、「家族に対して使用する。」(京都市出身)、「少し揶揄する時に使用する。」(京都市出身)、「ぶっきらぼうに言う時に使用する。」(京都市出身)、「笑いをとる時に使用する。」(大阪府枚方市出身)、「ヨル」は、「女の子とは使わない。」(京都市出身)といった回答があった。又、「テル」・「ヨル」を使用すると回答した者は二名であった。この使い分けについて、二名とも、「ヨル」は、「相手を見下しているような時に使用する。」(京都市出身二名)といった回答があった。そして、「テル」のみを使用すると回答した者は二三名であった。この「トル」・「ヨル」を使用しない理由は、「コテコテの関西弁だから。」(滋賀県草津市出身)、「乱暴な言葉づかいだから。」(京都府亀岡市出身)といった回答があった。

これらの関西方言話者の「テル」・「トル」・「ヨル」の調査からは、「トル」・「ヨル」については、滋賀県湖西市の一部でアスペクトによる使い分けがあるものの、基本的には、言語使用者の意識においては、待遇表現による使い分けが行われており、フォーマル・インフォーマルの使い分けは行われていないことがわかった。

一方、非関西方言話者男性二名の中で、「テル」のみ

を使用すると回答した者が一名、「テル」・「ヨル」を使用すると回答した者が一名であった。この「テル」のみを使用する理由については、「関西人ではないから。」(北海道旭川市出身)といった回答があった。又、「テル」・「ヨル」の使い分けは、「ヨル」は、「ヤバイときに使用する。」(岡山市出身)といった回答があった。この回答者は、先の「雨が降っている。」や「何をしているのですか?」についての質問でも、「テル」を使用する傾向があり、中国地方のアスペクトの使い分けを、あまり行わない人物であると考えられる。

更に、非関西方言話者女性一〇名の中で、「テル」・「トル」・「ヨル」を使用すると回答した者は一名で、「テル」を使用する理由として、「京都にいる時には共通語を使用するようにしている。」(広島市出身)といった回答があった。又、「テル」・「トル」を使用すると回答した者は一名で、新潟県小千谷市出身で、「トル」は、「友人に対して使用する。」といった回答があった。尚、「トル」・「ヨル」を使用すると回答した者も一名で、広島市の出身者であった。そして、「テル」のみを使用すると回答した者は四名であった。「トル」・「ヨル」を使用しない理由としては、「関西人ではないから。」(北海道札幌

市出身)、「荒っぽいから。」(広島市出身・静岡県掛川市出身)といった回答があった。又、「トル」のみを使用すると回答した者は三名で、先の「雨が降っている。」についての質問で、「トル」と回答した鳥根県松江市出身、鳥取県米子市出身、福岡市出身の三名であった。

これらの非関西方言話者の「テル」・「トル」・「ヨル」の調査から、西部方言話者はアスペクトの使い分けを残しているものの、東部方言話者にとっては、「トル」・「ヨル」は、軽卑語、もしくは、「関西方言らしい」印象を与えることがわかった。

最後に「何を言っているのですか?」シバいたるか、コイツ!」という表現に対して、「何を言っているのですか?」の部分で、「シバいたるか、コイツ!」が後に続いた場合に自然に聞こえるような表現に言い換えて下さい、という質問を行った。尚、「シバく」に関しては、自分自身の方言に直して考えて、回答をしてもらった。

まず、関西方言話者男性三一名の中で、「テル」を使用した者は一一名、「トル」を使用した者は一七名、「ヨル」を使用した者は〇名であった。又、「何?」等のように、「テル」・「トル」・「ヨル」を使用しない、その他の回答をした者は、三名であった。この「トル」を使用し

た一七名の中で、先の「雨が降っている。」・「何を言っているのですか?」の質問に対して、「テル」を使用しているにも拘わらず、「トル」を使用している者は、一二名であった。そして、関西方言話者女性六三名の中で、「テル」を使用した者は四四名、「トル」を使用した者は一七名、「ヨル」を使用した者は〇名、その他の回答をした者は二名であった。この「トル」を使用した一七名の中で、やはり、先の質問に対して、「テル」を使用しているにも拘わらず、「トル」を使用している者は、一七名であった。

一方、非関西方言話者男性二名(北海道旭川市出身・岡山市出身)は、一名とも、「テル」を使用していた。この岡山市出身者は、先にも考察したように、ここでも、「テル」を使用する傾向が見られた。又、非関西方言話者女性一〇名の中で、「テル」を使用した者は四名、「トル」を使用した者は四名、「ヨル」を使用した者は〇名、その他の解答をした者は二名であった。この「テル」を使用した四名は、北海道札幌市出身、新潟県小千谷市出身、静岡県掛川市出身、愛知県岡崎市出身、と総て、東部方言話者であった。更に「トル」を使用した四名は、鳥根県松江市出身、広島市出身三名、と総て、西部方言

話者であった。この四名の中で、先の「雨が降っている」・「何をしているのですか?」という質問に対して、「テル」を使用しているにも拘わらず、「トル」を使用している者は一名(広島市出身)だけで、その使用についても、「あまり使わない。」といった回答であった。

これらのことから、関西方言話者の若年層は、平叙文や疑問文とは異なり、「シバいたるか、コイツ!」が後に続くような怒りの感情を表す感動文の場合には、「テル」よりも「トル」を使用する傾向があることがわかった。しかしながら、この「トル」の使用に関しては、関西方言話者男性の場合、「関西人だから使用する。」(京都市出身二名)との回答がある一方で、「下品だからあまり使わない。」(京都市出身)、「ケンカ腰なのであまり使わない。」(京都市出身)といった回答があった。そして、その使用する場合に関しても、「冗談でしか使わない。」(京都市出身)、「腹の立つ時しか使わない。」(京都府城陽市出身・京都市出身)と、かなり限定されることがわかった。又、関西方言話者女性の場合、「友人に対して使用する。」(京都市出身二名)、「腹が立つ時に使用する。」(京都市出身二名)といった回答がある一方で、「自分自身は使用しない。」と回答した者が九名(大阪府門真市出身、

寝屋川市出身・枚方市出身・守口市出身・京都市出身二名・滋賀県甲賀郡出身・兵庫県神戸市出身・和歌山県西牟婁郡出身)と、やはり、使用は限定されたものであることがわかった。更に、非関西方言話者女性の回答でも、「あまり使わない。」(広島市出身二名)、「こわい感じがするので使わない。」(広島市出身)といったものがあり、ここでも、その使用は限定されたものであることがわかるのである。しかしながら、これらの回答を見る限り、フォーマル・インフォーマルの使い分けを見いだすことはできなかった。

以上、「テル」・「トル」・「ヨル」の用法について、アンケート調査を分析してきた。その結果、次のことがわかった。

一・関西方言話者の若年層では、京都市出身者の一部を除いて、平叙文では、基本的には、「テル」を使用する。

二・関西方言話者や非関西方言話者の別に関係無く、若年層では、疑問文では、平叙文よりも、「トル」より「テル」を使用する傾向がある。

三・関西方言話者の若年層の「テル」・「トル」・「ヨル」の使い分けの意識は、滋賀県湖西地方出身者にアスペクトの使い分けがあるものの、基本的には待遇表現に関する使い分けで、フォーマル・インフォーマルの使い分けは見られない。

四・感動文の場合、関西方言話者の若年層は、「トル」が使用されるという意識があるものの、実際の自身の運用では、限定的で、特に、女性の場合、抵抗があることがわかった。そして、非関西方言話者の若年層の場合、東部方言話者は「テル」を使用し、西部方言話者は関西方言話者と同じく、「トル」が使用されるという意識があるものの、実際の自身の運用では、限定的で、やはり、女性の場合、抵抗があることがわかった。

#### 四 ま と め

以上、関西方言における「トル」・「ヨル」のアスペクト以外の表現について、考察をしてきた。その結果、「テル」・「トル」・「ヨル」の使い分けの意識に関しては、待遇表現の使い分けとフォーマル・インフォーマルの場

の使い分けの境界線が曖昧であることがわかった。そして、たとえ、フォーマルな場であっても、感情が高ぶってくると、軽卑の感情を表す待遇表現が優先されてしまう場合が多くなってしまいう傾向があるのである。従って、冒頭に挙げた、磯村大阪市長の発言の「テル」が「トル」になってしまいう例も、見出しでは、怒りの感情をインパクトを持たせて表現する必要があった為であると考えられる。しかしながら、女性の場合は、関西方言話者であるうと、西部方言話者であるうと、怒りの感情を表す為には、「トル」を使用することは、抵抗を感じてしまいう傾向があるので、仮に太田知事が同じ発言をしたとしても、「テル」が「トル」と表現される可能性は、かなり低かったのではないかと推測される。

尚、柳田（一九九〇）で指摘されているような、通時的な軽卑の待遇表現の成立と東西方言の対立の問題、沖（一九九一・一九九六・二〇〇〇等）で指摘されているような「気づかれにくい方言」とアスペクト形式の東西差の問題等と関連して、足立（一九九六）で触れた生成文法で上手く分析できる日本語は、翻訳語の影響の下に、その用法を拡張させていったものが多いという問題については、稿を改めて論じたいと思う。

《調査したTV番組》(括弧数字は本文中の引用番号)

一・桂ざこば

『たかじん胸いっぱい』

二〇〇〇年七月八日放送(1)・二〇〇〇年七月十五日放送(2)・二〇〇〇年七月二二日放送(3)・二〇〇〇年七月二九日放送(4)

『痛快!エブリデイ』

二〇〇〇年七月三日放送(5)・二〇〇〇年七月一日放送(6)・二〇〇〇年七月一七日放送(7)・二〇〇〇年七月二四日放送(8)・二〇〇〇年七月三一日放送(9)

二・やしきたかじん

『たかじんONEMAN』

二〇〇〇年七月五日放送(1)・二〇〇〇年七月二二日放送(2)・二〇〇〇年七月一九日放送(3)・二〇〇〇年七月二六日放送(4)

『たかじん胸いっぱい』

二〇〇〇年七月八日放送(5)・二〇〇〇年七月十五日放送(6)・二〇〇〇年七月二二日放送(7)・二〇〇〇年七月二九日放送(8)

三・桂南光

『あさパラ!』

二〇〇〇年七月一日放送(1)

『痛快!エブリデイ』

二〇〇〇年七月三日放送(2)・二〇〇〇年七月六日放送(3)・二〇〇〇年七月一〇日放送(4)・二〇〇〇年七月一三日放送(5)・二〇〇〇年七月一七日放送(6)・二〇〇〇年七月二〇日放送(7)・二〇〇〇年七月二四日放送(8)・二〇〇〇年七月二七日放送(9)・二〇〇〇年七月三一日放送(10)

四・島田紳助

『クイズ!紳助くん』

二〇〇〇年七月三一日放送(1)

『紳助の人間マングラ』

二〇〇〇年七月一六日放送(2)・二〇〇〇年七月二三日放送(3)・二〇〇〇年七月三〇日放送(4)

五・松本人志

『ダウンタウンのガキの使いやあらへんで!!』

二〇〇〇年七月八日放送(1)・二〇〇〇年七月十五日放送(2)・二〇〇〇年七月二二日放送(3)・二〇〇〇年七月二九日放送(4)

『HEY!HEY!HEY!』

二〇〇〇年七月三日放送(5)・二〇〇〇年七月一日放送(6)・二〇〇〇年七月一七日放送(7)・二〇〇〇年七月二四日放送(8)・二〇〇〇年七月三十一日放送(9)

六・浜田雅功

『ダウンタウンのガキの使いやあらへんで!!』

二〇〇〇年七月八日放送(1)・二〇〇〇年七月一日放送(2)・二〇〇〇年七月二二日放送(3)・二〇〇〇年七月二九日放送(4)

『HEY!HEY!HEY!』

二〇〇〇年七月三日放送(5)・二〇〇〇年七月一日放送(6)・二〇〇〇年七月一七日放送(7)・二〇〇〇年七月二四日放送(8)・二〇〇〇年七月三十一日放送(9)

七・ハイヒール・リング

『あさパラ!』

二〇〇〇年七月八日放送(1)・二〇〇〇年七月一日放送(2)・二〇〇〇年七月二二日放送(3)・二〇〇〇年七月二九日放送(4)

『痛快!エブリディ』

二〇〇〇年七月二七日(5)

八・ハイヒール・モモコ

『あさパラ!』

二〇〇〇年七月八日放送(1)・二〇〇〇年七月一日放送(2)・二〇〇〇年七月二二日放送(3)・二〇〇〇年七月二九日放送(4)

『紳助の人間マンダラ』

二〇〇〇年七月一六日放送(5)

〔注〕

① 関西方言の定義は、関西各地域の差異を認識した上で、それを包括するものとして使用する。

② 新聞記事の本文では、  
中身がたるんでいるんじゃないか。  
となっている。

③ 朝日新聞大阪本社広報室によると、見出しの文体に関する規範はなく、それぞれの記者が、インパクトを持って受け取られるように記しているとのことである。

④ ダウンタウンに関しては、関西ローカルのTV番組が存在しないので、全国ネットのTV番組の中で、二人のフリートークを中心としたものを選んだ。

⑤ 上沼恵美子は、一九五五年生・兵庫県南淡町出身の為、調査を行ったが、(表)の中には入れなかった。

⑥ 一九五九年生・大阪市出身

《参考文献》

- 足立雅代（一九九六）「日本語の他言語受容における事態認知プロセスのモデル化の試み」（京都言語学コロキウム発表資料）
- 足立雅代（二〇〇〇）「共通語らしさ」と「関西弁らしさ」——「ダ」と「ヤ」や「ネン」——『甲南国文』第四七号
- 井上文子（一九九八）『日本語方言アスペクトの動態——存在型表現形式に焦点をあてて——』
- 沖裕子（一九九一）「気づかれにくい方言——アスペクト形式——しかける」の意味と東西差——『日本方言研究会第五三回研究発表会発表原稿集』
- 沖裕子（一九九六）「アスペクト形式——しかける——しておく」の意味の東西差——気づかれにくい方言について——平山輝男博士米寿記念会編『日本語研究諸領域の視点 上巻』
- 沖裕子（二〇〇〇）「アスペクトからみた動詞分類再考——気づかれにくい方言」にふれて——『人文科学論集（文化コミュニケーション学）』三四号
- 金沢裕之（一九九九）研究代表者金沢裕之『文部省科学研究費成果報告書 明治時代の上方語におけるテンス・アスペクト形式——落語資料を中心として——』
- 岸江信介（一九九〇）『昭和』における大阪方言の動態

『国語学』第一六三輯

- 金水敏（一九九五）「いわゆる「進行態」について」『築島裕博士古希記念国語学論集』
- 金水敏（一九九九）「近世・近代上方方言における存在表現とアスペクト表現——大阪落語SPPを中心に——」『文部省科学研究費成果報告書 明治時代の上方語におけるテンス・アスペクト形式——落語資料を中心として——』
- 工藤真由美（一九九五）『アスペクト・テンス体系とテクスト』
- 工藤真由美（二〇〇〇）研究代表者工藤真由美『文部省科学研究費成果報告書 方言のアスペクト・テンス・ムード体系変化の総合的研究』
- 鈴木泰（一九九九）『改訂版 古代日本語動詞のテンス・アスペクト——源氏物語の分析——』
- 柳田征司（一九九〇）「近代語の進行態・已然態表現」『近代語研究』第八集

《付記》

アンケートに協力していただいた『言語学』の受講生の方々には、記してお礼申し上げます。

（大谷大学非常勤講師）